

第1章 計画の目的等

【背景】

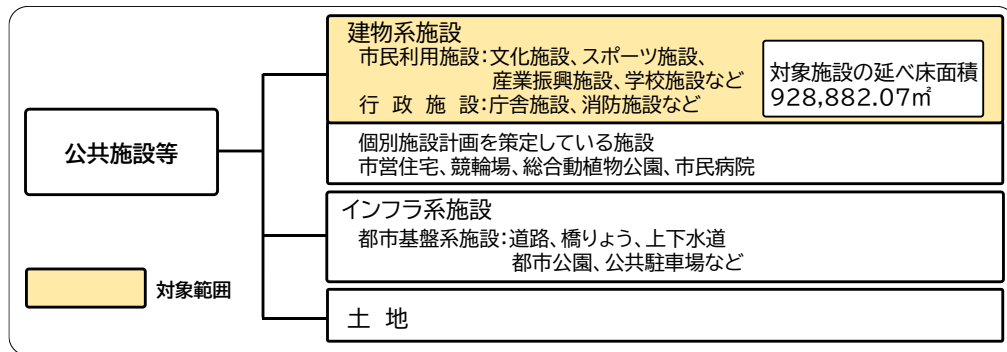
施設の最適化の考え方を示す「施設再配置の考え方について」や、施設の廃止や運営改善に取り組むための「第2次施設廃止計画」を策定してきました。想定を上回る人口減少の進行など社会情勢が大きく変化しており、今後の維持更新費用の確保はより厳しいものになると予測されます。

【目的】

「質」と「量」の適正化をさらに進ませ、具体的な数値目標を掲げ、施設最適化を推進することで「施設保有量の最適化」を図ることを目的とします。

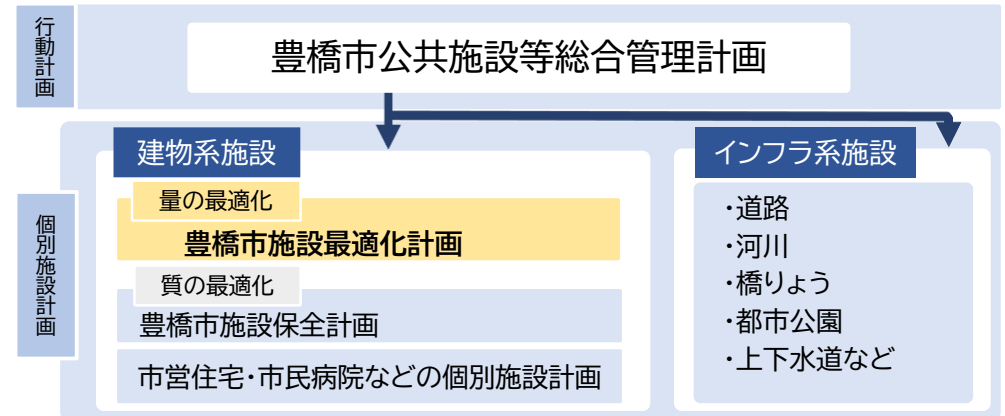
【対象施設】

個別施設計画を策定している施設を除いた建物系施設を対象としております。



【計画の位置づけ】

豊橋市公共施設等総合管理計画の個別施設計画に位置づけられます。



【計画期間】

2026(令和8)年度から2035(令和17)年度の10年間とし、5年で中間見直しを実施します。

計画期間：10年



第2章 建物系施設の現状と課題

【建物系施設の現状】

- ・施設の老朽化
今後10年間で建設後50年以上の建物が約半分となり更新時期が迫っています。
- ・ニーズの変化
生活環境や利用需要は施設整備当時から変化しています。
- ・社会構造の変化
更なる人口減少が予測され今の保有量を維持・更新することは後世の負担を増加させることになります。

【今後の見通しを踏まえた課題】

- ・利用需要を考慮した上で保有量を最適化し、財政負担の軽減を図る必要があります。
- ・市民ニーズの変化に行政サービスが対応することによって、利便性を維持した施設管理・運営を行う必要があります。

第3章 施設最適化に向けた方針

【施設最適化の定義】

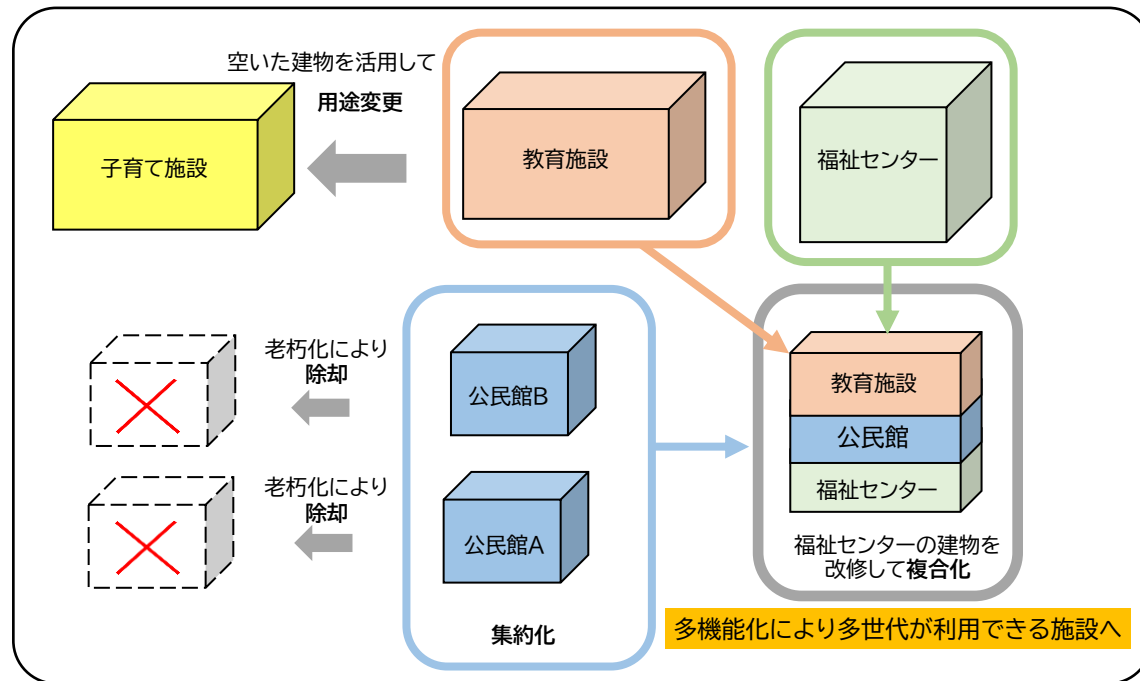
施設最適化は以下の手法などにより、施設の質や量の最適化を実施することです。

- 複 合 化:目的や機能が異なる施設を統合し、それぞれの機能を有した施設を整備
- 集 約 化:目的や機能が同じ施設を統合し、一体の施設を整備
- 用 途 変 更:既存施設の機能を廃止し、別の機能をもつ施設に転用
- 規模適正化:建替え・改修時などに施設規模を適正化し整備
- ソフト化:施設の機能を民営化、また民間施設を活用して機能を継続
- 広 域 化:近隣自治体にある同じ機能の施設を集約し共同で利用、管理運営
- 廃 止:既存施設の機能を廃止、機能廃止・建物を解体し跡地の貸付や売却
- 機 能 改 善:民間活用等により、サービスの向上・運営コストを縮減

【基本方針】

- 保有量の最適化
施設の複合化等により施設保有量の最適化を図ります。また原則、新規整備は複合化施設とし、トータルコストの縮減を図ります。
- 施設運営の最適化
民間活用等の推進により、利便性を維持しつつコストの縮減を図ります。

【最適化のイメージ図】



【数値目標】

- 建物系施設の延べ床面積を10年間で6%削減します。

削減面積は55,733㎡になります。

第4章 施設最適化に向けた取り組み

【施設最適化する候補施設】

今後5年以内に施設最適化を行う候補施設は以下の表のとおりです。
対象施設は、第2次施設廃止計画において廃止が出来なかった施設や施設最適化の検討を行い実現可能と判断した施設です。

施設名	所管課	延べ床面積 (㎡)	削減面積 (㎡)	最適化予定時期					手 法	方向性(予定)
				R8	R9	R10	R11	R12		
八町地域福祉センター	福祉政策課	2,686.64	2,686.64	→	★				集約化	施設の老朽化のため令和9年度に他の地域福祉センターへ集約化
職業訓練センター	商工業振興課	1,307.85	743.85	→	★				廃止	令和8年度末で豊橋高等技術専門校の閉校に伴い令和9年度に機能廃止
青少年センター	生涯学習課	3,870.18	962.51	→	★				規模適正化	令和8年度末までに宿泊棟の整理を実施
石巻老人福祉センター	長寿介護課	408.4	408.4	→	★				複合化	石巻老人福祉センターと石巻高齢者活動センターを令和11年度に複合化
石巻高齢者活動センター		589.14								
東部学校給食センター	保健給食課	2,573.34	2,573.34				→	★	集約化	曙学校給食センター開設に伴い令和12年度までに集約化
市民クラブハウス	スポーツ課	506.46	100	→	★				複合化	市民クラブハウスと豊岡生涯学習センターを令和12年度に複合化
豊岡生涯学習センター	生涯学習課	717.23								

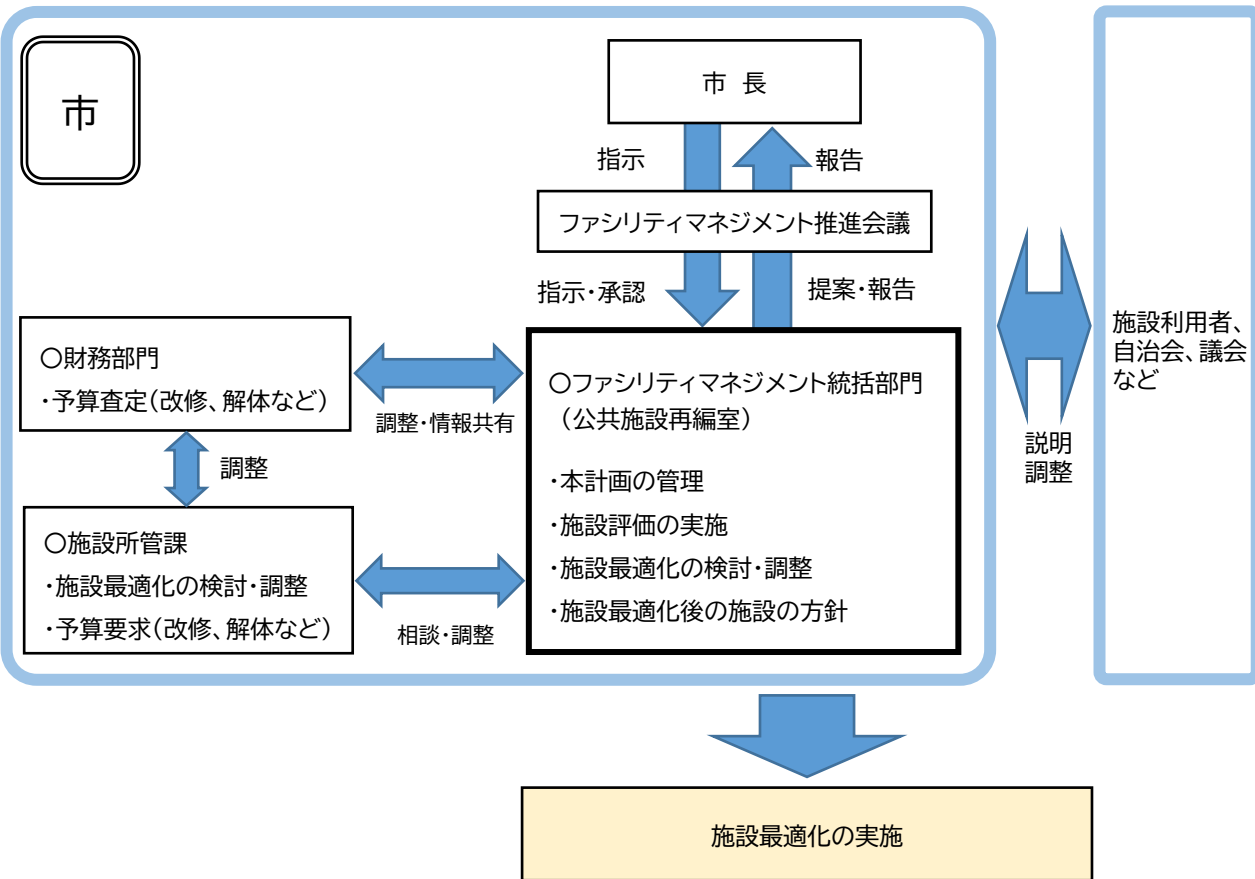
施設名	所管課	延べ床面積 (㎡)	削減面積 (㎡)	最適化予定時期					手 法	方向性(予定)	
				R8	R9	R10	R11	R12			
自然史博物館	自然史博物館	6,983.52							集約化	視聴覚センターと地下資源館は、令和12年度にのんほいパーク内へ集約化	
視聴覚教育センター	科学教育センター	3,293.27	2,200.00	→							★
地下資源館		2,007.97									
少年自然の家	生涯学習課	1,893.81	1,893.81	→					★	集約化	少年自然の家は野外教育センターへ令和12年度までに集約化
野外教育センター		2,274.01									
石巻平野町地内建物	財産管理課	3,246.20	3,246.20	→					★	廃止	建物内に保管されているものについては、他の施設に移動し施設を令和12年度機能廃止
飯村墓地(管理棟)	福祉政策課	199.97	63.99	→					★	規模適正化	管理棟は同施設内の待合所に集約し規模適正化
合計*		14,878.74									

「→」は施設最適化の検討期間(余剰となる施設の活用方法の決定を含む)を表し、「★」は施設最適化の実施時期を表します。
主な施設の最新情報は本市のホームページ等で公表している「豊橋市公共施設白書」に記載しています。
※削減面積(14,878.74㎡)は本計画の対象延べ床面積の約1.6%です。

第5章 計画の推進について

【取組体制】

ファシリティマネジメント統括部門（公共施設再編室）により、施設の有効活用等を総合的に企画・管理・運用し、関係各課との調整を図りファシリティマネジメント推進会議にて意思決定を行います。



【PDCAサイクルの推進方針】

毎年、目標達成状況に関する進捗状況を確認するとともに、その結果によっては本計画を改訂するなど、PDCAサイクルの考え方に基づき5年を基本として必要に応じた計画の見直しを行います。

